

とが重要である。

このような考えのもとに、研究2年次に当たる本年は、「関心・態度」の評価の在り方について研究を行った。

## (2) 研究主題

「関心・態度」の評価に関する研究

## (3) 研究の概要

### ① 理論研究（研究のための理論）

教育評価についての文献及び先行研究をもとに、「評価に関する基本的な考え方」、「関心・態度に関する評価目標の設定」、「評価基準の設定」、「関心・態度の評価方法及び評価の生かし方」について理論研究を行い、実践研究のための手続きを設定した。

### ② 実践研究（社会科における「関心・態度」の評価）

理論研究をふまえ、小学校社会科の小単元を例に検証授業を実施し、授業研究を通して分析・考察を行い、観察法、自己評価法による「関心・態度」の評価の在り方を明らかにした。

### ③ 紀要

「『関心・態度』の評価に関する研究」刊行

## 3 福島県標準学力診断検査問題の研究

### (1) 研究の趣旨

この研究は、学習指導要領に沿った検査問題を作成し、県内各校で検査を実施して児童・生徒の学力の実態を分析把握し、教育課程や学習指導の改善に役立てることを目的とする当教育センターの継続的研究である。

### (2) 研究の概要

#### ① 福島県標準学力診断検査の実施

中学校1年国語・数学・英語について、層化無作為2段抽出法により中学校6校を抽出して検査問題による予備テストを実施し、採点、誤答分析を行った。

#### ② 福島県標準学力診断検査問題の研究、作成

中学校1年社会、理科について所員と中学校教員からなる研究委員会を構成し、検査問題を作成した。

#### ③ 学力分析報告書の刊行

小学校1、2、3年の社会、理科について実施した検査問題による本テストの結果に基づき、学力の実態を分析して「福島県標準学力診断検査問題」による学力分析報告書を刊行した。

## 4 中学校理科指導に関する研究

### (1) 研究の趣旨

理科学習において、生徒の興味、関心を高めるのには、論理やモデルを重視して抽象的な科学概念を指導するよりも、身近な素材を授業展開の中に多くとり入れて、自然の事物、現象に直接ふれる学習が求められている。このようなことから、身近な素材を活用し学習活動に応用できる実践例を各分野にわたって検討した。そして、それを実際の授業実践を通して考察を加え研究を進めた。

### (2) 研究主題

身近な素材を活用した中学校理科指導の研究

### (3) 研究の概要

#### ① 身近な素材を生かした理科学習指導上の問題点をとり

だした。

② 各分野における研究課題を設定した。

③ 理科学習指導要領の内容及び教科書に示されている観察・実験の内容を検討した。

④ 身近な素材を生かしたり、直接経験を重視する理科指導のあり方に検討を加え、授業展開案をつくり実践を行った。

⑤ 授業研究の考察をしてまとめた。また、考察に基づいて、必要があれば観察や実験内容の再検討を行った。

## 5 児童生徒の耐性に関する研究

### (1) 研究の趣旨

今日、児童生徒の様々な問題行動が増加している中で、児童生徒の内面に目を向けると、これら問題行動の背景の一つとして、耐性の欠如が大きな比重を占めていると言わわれている。このことに関して、「青少年白書」の青少年問題の現状と対策の中でも、問題行動增加の背景や要因と深いかかわりがあるとみられる現代青少年の性格的特徴として、耐性の欠如が指摘されている。

これらをふまえ、適切な生徒指導を推進するため、児童生徒の耐性にかかる意識や行動の実態を把握し、分析と考察を加え、教育現場の指導の一助に資するものである。

### (2) 研究の内容

生徒指導に関する研究—児童生徒の耐性に関する研究—

### (3) 研究の概要

本研究では、耐性の概念をとらえて、耐性を促進あるいは阻害する特性・要因を構造的に位置づけ、児童生徒及びその保護者や教師を対象とする調査を通して、児童生徒の耐性にかかる実態を総合的に把握した。この調査結果を基に、分析と考察を加え、耐性醸成のための基礎的な手がかりを追求したものである。

研究の成果は、紀要「生徒指導に関する研究—児童生徒の耐性に関する研究—」として刊行した。

## 6 事例を通した教育相談の進め方に関する研究

### (1) 研究の趣旨

「反社会的行動をもつ児童生徒への心理的な指導援助」の副題のもとに、昭和59年度より2か年にわたって行う研究である。児童生徒の反社会的行動の改善・解決を図ることを通して、より的確な教育相談のあり方を追究する。

### (2) 研究の概要

#### ① 理論研究

ア 児童生徒の反社会的行動についての基本的な考え方  
イ 反社会的行動の発生を理解する手がかりと背景  
ウ 反社会的行動をもつ児童生徒の教育相談の進め方

#### ② 事例研究

ア 小学校 2例 (いずれも盗み)  
イ 中学校 3例 (集団いじめ、無断外泊・家出、不純異性交遊)  
ウ 高等学校 2例 (バイク窃取、性的逸脱行動)

#### ③ 考察

ア 事例の総括